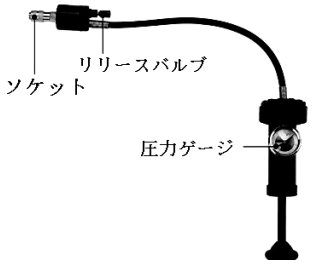
2012.8

取扱説明書
ラジエーター・テスター　品番：＃３９１２１１００　型式：ＲＴ９１９Ｓ

１，適応車種
Ｎｏ，１　：メルセデスベンツ
Ｎｏ，２　：アウディーＡ４、Ａ５、Ａ６
Ｎｏ，３　：オペル、フォルクスワーゲン、フォード
Ｎｏ，４　：ＢＭＷ
Ｎｏ，５　：ＢＭＷ
Ｎｏ，６　：ボルボ、シトロエン、ルノー、フィアット、プジョー
Ｎｏ，７　：アウディ、フォルクスワーゲン
Ｎｏ，８　：アジャスタブルシート
Ｎｏ，９　：５０mm国産車、ヨーロッパ車対応シート
Ｎｏ，１０：３５mm国産車、ヨーロッパ車対応シート
Ｎｏ，１１：２７mm国産車、ヨーロッパ車対応シート
Ｎｏ，１２：コーディネートキャップ
Ｎｏ，１３：汎用キャップ（サイズの合う物に使用して下さい。）
Ｎｏ，１４：ステンレスファスナー
Ｎｏ，１５：ホンダ、トヨタ
Ｎｏ，１６：三菱、フォード、日産、マツダ
Ｎｏ，１７：フォード
Ｎｏ，１８：フォード
Ｎｏ，１９：メルセデスベンツ
Ｎｏ，２０：フォード
（Ｎｏ，８～１２，１４は、図１，２を参考に使用して下さい。）
※上記の適応車種は参考です。実際、現車に取り付けて確認して下さい。



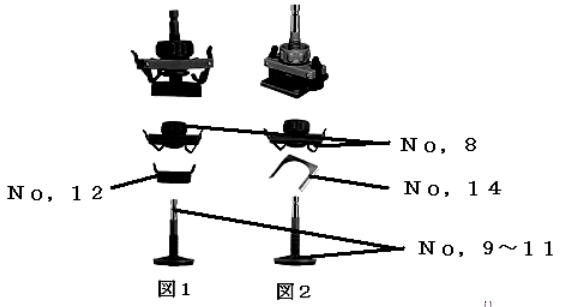


図１　図２

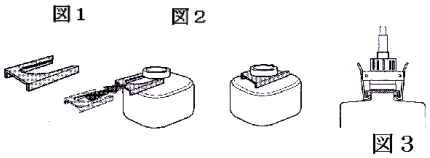


図３

２，使用方法
①Ｎｏ，１～７，１３，１５，１６，１９，２０は車輌のラジエーターキャップと同様に、そのまま使用可能です。
②Ｎｏ，１７，１８を使用する場合は、まず、Ｎｏ，９～１１の中から車輌に合う物を選択して下さい。そして、Ｎｏ，１７，１８の中央のネジ穴に、Ｎｏ，９～１１の何れかを反時計回転方向に回して、確実に締め込んで下さい。
③ヨーロッパ車に使用する場合で、Ｎｏ，１～７、１６～２０のアダプターで合わない場合は、Ｎｏ，８、Ｎｏ，１２とＮｏ，９～１１の中から車輌に合うものを選択して下さい。Ｎｏ，８の爪をＮｏ，１２のコの字部分にはめ込み、Ｎｏ，８の中央のネジ穴に、Ｎｏ，９～１１の何れかを反時計回転方向に回して確実に締め込んで下さい（図１参照）。
④国産車に使用する場合で、Ｎｏ，１５、１６のアダプターで合わない場合は、Ｎｏ，８、１４とＮｏ，９～１１の中から車輌に合うものを選択して下さい。図３を参考にＮｏ，１４をリザーバータンクの口金下部に挿入し、Ｎｏ，８の中央のネジ穴に、Ｎｏ，９～１１の何れかを反時計回転方向に回して確実に締め込んで下さい（図２参照）。最後にＮｏ，１４にＮｏ，８の爪を引っ掛けて下さい。
⑤ラジエーターの水温が完全に下がってから、ラジエーターキャップを取り外して下さい。
⑥使用車種に適合するアダプターを、確実に取り付けて下さい。
⑦ポンプのホース先端のソケットを、アダプターのプラグに差し込んで下さい。『カチッ』と音が鳴ると接続完了です。
⑧ポンプのハンドルを伸縮させて、ラジエーター内の圧力（ポンプ付属のゲージ）を１００ｋＰａにして下さい。
⑨ラジエーター、パイプ、ホース、タンクから水漏れが無い事、ポンプのゲージの針が下がっていない事を確認して下さい。ゲージの針が下がると、ラジエーター内よりリーク（水漏れ等）が発生しています。適切な処置（修理）を行って下さい。
⑩リーク、ゲージの針が下がらない場合は、更に２～３分程度ラジエーター内に圧力を掛けた状態にして、異常がない事を確認して下さい。
⑪作業終了後は、ポンプのソケットの横にあるリリースバルブを押して、ラジエーター内の圧力（ポンプ付属のゲージ）を０ｋＰａにして下さい。
⑫車からアダプターを取り外し、ポンプのハンドルを２～３回伸縮させて下さい。ポンプ内の水を取り除く事が出来ます。

３，注意事項
⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）
①使用後直ぐに（ラジエーターの水温が下がっていない状態）、ラジエーターキャップを開けないで下さい。**ラジエーター液が噴出し、火傷をする**恐れがあります。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）
①本機のポンプを使用して、**ラジエーター内の圧力を必要以上に高く（１４０ｋＰａ）しない**で下さい。パイプとホースの接続部分から、ラジエーター液が漏れる恐れがあります。
②使用車種に適合しない形状のアダプターを、無理に取り付けて使用しないで下さい。正確にテストが出来ない場合があり、ラジエーター、本機の破損に繋がります。
③車種によって使用出来ない場合があります。御了承下さい。
④本機の清掃に、シンナー等の化学薬品を使用しないで下さい。パッキン破損の原因になります。
⑤ラジエータータンク内に圧力を掛けた状態で、ラジエーターからポンプ、アダプターを取り外さないで下さい。ラジエーター液が噴出する恐れがあります。必ず、圧力を抜いてから、取り外して下さい。
⑥セット内容に破損、変形等の不良がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
⑦分解、修理、改造はしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなり、事故の原因になります。
⑧本機は、ラジエーター各部の水漏れを点検する道具です。その他の用途には使用しないで下さい。
⑨ポンプ、アダプター、ソケットは、定期的に洗浄して下さい。故障の原因になります。
⑩ラジエーターに取り付けたアダプターを、**斜め方向に力を掛けないで下さい。空気、液漏れの原因**になります。

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　　０１２０－２０２－８００